

議題2 将来の提供食数について

1. 提供食数の推計

学校給食センターや自校調理場の更新時期を踏まえ、将来どのくらいの給食の提供が必要になるかを児童・生徒数や教職員数などを整理し、提供食数を推計します。

提供食数は、当面の施設更新等を見据え、令和9年度から令和18年度までの10年間を対象とします。

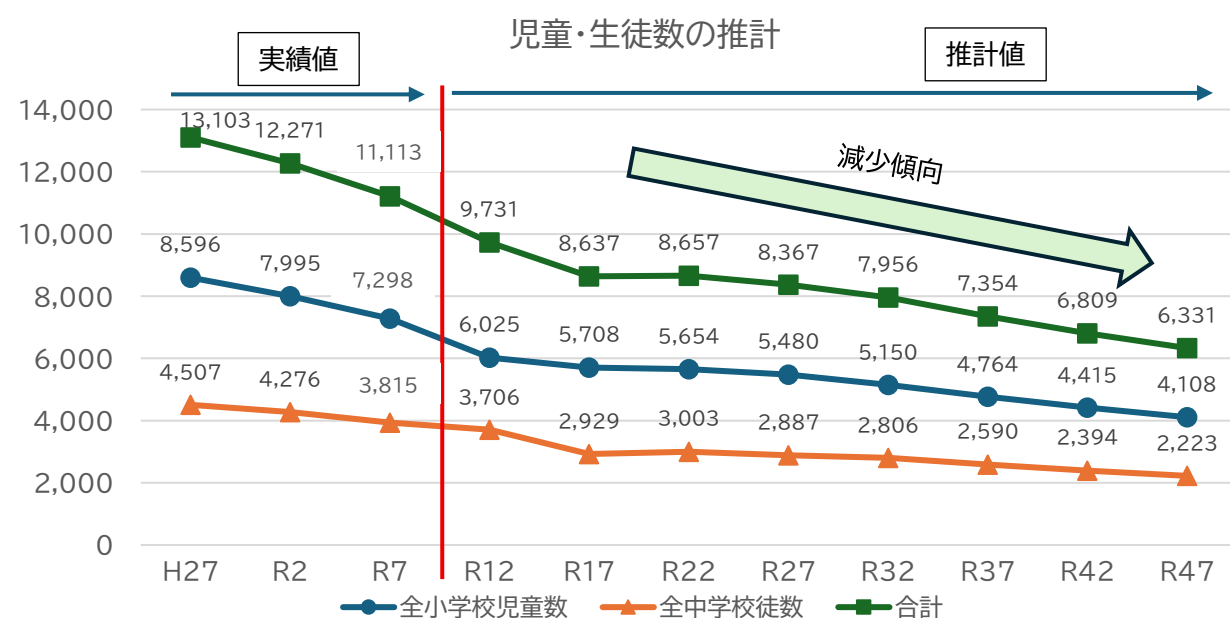
表：10年後までの小中学校児童・生徒数の推計(令和8年5月1日時点)

	実績値		推計値									
	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
小学校児童数	7,298	7,143	6,776	6,526	6,275	6,025	5,962	5,898	5,835	5,771	5,708	5,697
中学校生徒数	3,815	3,734	3,845	3,798	3,752	3,706	3,551	3,395	3,240	3,084	2,929	2,944
合計	11,113	10,764	10,621	10,324	10,027	9,731	9,513	9,293	9,075	8,855	8,637	8,641

※令和9～11年度、令和13～16年度、令和18年度の児童・生徒数は、各務原市学校適正規模・適正配置等に関する基本計画に示す令和7,12,17,22年度の児童・生徒数から按分して算出

(1)児童・生徒数の見込み

児童・生徒数の見込みは、以下のとおりです。令和7年から令和17年にかけて、約2,500人減少する見込みです。その後も減少が続き、令和47年までには約5,000人減少し、令和7年と比べて約4割少なくなる見込みです。



(各務原市学校適正規模・適正配置等に関する基本計画(案) p8 を参照)

(2)小中学校教職員数及び給食運営に従事する職員等(給食提供対象人数)の見込み

給食は、児童・生徒だけでなく学校で勤務する教職員及び給食運営に従事する職員等(以下、教職員等)も利用するため、教職員等数を把握することは、提供する食数を見込む上で重要となります。

令和8年5月時点での教職員等数は、以下のとおりです。

なお、教職員等数については、将来の人数を正確に見通すことが難しいため、現時点の人数をもとに見込むこととします。

表：小中学校教職員及び調理従事者等数（人）(令和8年5月現在)

	学校給食センター	自校給食調理場	合計
教職員数	475	479	954
調理従事者数※	83	73	156
合計	558	552	1,110

※調理従事者数は給食提供対象人数のみ

(3)提供食数の見込み

以上から、今後10年間の給食の1日当たりの提供食数は約9,700食～12,000食程度で推移すると見込まれます。

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
提供食数	11,731	11,434	11,137	10,841	10,623	10,403	10,185	9,965	9,747	9,751

R9～R18の提供食数の見込みは
約12,000食～9,700食程度